

(みぎ・ひだり)大腿骨顆部骨折手術を受けられる患者さんへ

ID: _____

患者様氏名: _____

主治医: _____

受持看護師: _____

月日(日時)	/	/	/	/ ~ /	/ ~ /	/ ~ /	
経過(病日)	入院日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日	手術後1週	手術後2週	手術後3週(退院)
達成目標	◇手術の必要性が理解でき、手術に同意している ◇手術前の準備が整っている ◇入院時、転院の説明を理解し同意している(希望に沿えない場合もあります)	◇手術に対して不安が無く、傷の痛みや他の苦痛が和らぐ	◇深部静脈血栓の徴候がない	◇下肢のしびれや冷感が無く、痛みが緩和される ◇車椅子に移動できる ◇深部静脈血栓の徴候がない ◇転院の手続きを進める(必要時)	◇痛みがコントロールできる ◇リハビリで歩行訓練ができる ◇深部静脈血栓の徴候がない	◇痛みがコントロールできる ◇安定した杖歩行ができる	
治療・薬剤(点滴・内服)リハビリ	持参薬の確認をします お薬手帳とお薬を確認します	必要時、麻酔科医の指示で内服します(朝6時)	手術後、点滴を翌日まで継続します 抗菌剤の点滴があります 弾性ストッキングを装着します	必要時、鎮痛剤を使用します 病棟でリハビリを始めます 離床の許可が出たら理学療法室でリハビリを行います	理学療法室でリハビリを継続します	医師の許可があれば病棟で歩行訓練を開始します(看護師が付き添います)	
処置	手術前に医師が手術する部位に印をつけます		術後、酸素を投与します 心電図モニターを装着します	傷の消毒があります(週2~3回程度) 医師の指示のもと、心電図モニター、酸素投与を終了します		傷のフィルムをはがします	
検査	必要時応じて、血液検査や整形外科以外の診療科の診察があります		術後、血液検査があります		血液検査があります		血液検査があります
活動・安静度	医師の指示に従ってください		手術後はベット上安静です	介助で車椅子に乗ります			
食事	夕食まで食事ができます それ以降は食事や噛ガムなど禁止です	朝から手術まで禁食となります 6時・10時まで500ml飲水可能です(味のしないミネラルウォーターのみ)		朝食から開始されます			
清潔	シャワー浴、または身体を拭きます			看護師が身体を拭いて替えます	傷口の確認後、シャワー浴可能となります		
排泄	排便の確認をします		手術後、尿の管が入ってきます	尿の管が抜け、介助にてトイレ可能となります(1~2日程度)			
患者様及びご家族への説明生活指導リハビリ指導栄養指導服薬指導	入院生活と手術前の説明をします 麻酔科医師の診察があります 手術室看護師が訪問します 薬剤師が訪問し、薬についての説明があります		手術後、主治医より手術の結果と今後について説明します		理学療法士がリハビリの説明をします 退院調整を開始します		退院後の生活について理学療法士や看護師から説明があります

注1 病名は、現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることがあります。
 注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

説明を受けた日 _____ 年 ____ 月 ____ 日
 説明を受けた方の氏名 _____ (続柄: _____)